

自治基本条例特集 [part.8]

町民が主役のまちづくりを目指して

今月号では、11月12日（土）・13日（日）の第29回東郷町文化産業まつりで出展した「東郷町自治基本条例PRコーナー」の様子と11月22日（火）の第2回自治基本条例検討委員会について報告します。

文化産業まつり「東郷町自治基本条例PRコーナー」

この企画は、自治基本条例という言葉を知ってもらうことに重点を置いて実施しました。

子どもが楽しめるミニゲームやパネル展示のほか、「夢の咲く木」と題した木を用意。来場者の皆さんに「東郷町がこんなまちになったらいいな」という夢を花や実に見立てた付箋に書いてもらいました。まつりの前は、何もない寂しい木でしたが、まつりの後には、満開の花が咲き乱れました。



第2回自治基本条例検討委員会

今回のテーマは「東郷町の現状を見つめよう」。4つのグループに分かれて、東郷のまちの「ここがスキ」（自慢や誇り）、「ここがキライ」（問題点や課題）について話し合いました。

スキは青色、キライは赤色の付箋を使って意見を出し合い、類似した意見はグループにまとめます。そのグループにタイトルやキーワードを付けて、東郷町の現状を見つめ直しました。最後は「本日のひとこと」と題して、各グループの思いをひとことで表現し、まとめを発表。町の自慢と町の抱える課題が、少しずつ見えてきました。



ここがスキ（自慢・誇り）

人々が親切、緑が多い、愛知池がきれい、住みやすい、名古屋市に近い、お米がおいしい、田舎的など、のんびりした雰囲気 など

ここがキライ（問題点・課題）

電車が無い、交通の便が悪い、国道153号線で分割されている、緑が減ってきている、商業施設が少ない、観光資源が少ない、町の中心市街地が無い など